

ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
(以下「ディズニー」という)
第二十四回ディズニー・チャンネル/ディズニーXD放送番組審議会
議事録

開催日時 : 2015年04月22日(水) 14:30~15:30
開催場所 : 東京都港区麻布台 2-4-5
ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
ウォルト・ディズニー・テレビジョン・インターナ
ショナル ジャパン
スタジオ・ディズニー会議室

在任審議委員数 : 7
出席審議委員数 : 6
出席審議委員氏名 : 阿部 京子
木下 美子
戸田 奈津子
名越 康文
前田 耕作
山田 顕喜

その他、ディズニ : 編成部門担当者6名
ーからの出席者

- 議案**
- 1) ディズニー・チャンネル及びディズニーXDの番組編成・改編について
 - 2) ディズニー・チャンネル及びディズニーXD放送番組について
(下記の番組については、本会議に先立ち、各審議委員にDVDを送付した。)
 - ・「ガール・ミーツ・ワールド」
 - ・「スター・ウォーズ 反乱者たち」
 - ・「世界のディズニーリゾートへGO!」

審議の概要

1) ディズニー・チャンネル及びディズニーXD番組編成について
ディズニー・チャンネル及びディズニーXDの番組編成・改編について説明が
され、下記のとおり意見交換が行われた。
(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の
回答)

- ディズニー・チャンネルでは、4月15日(水)から18日(土)まで、「トイ・

ストーリー コレクション」という特別編成を組み、映画「トイ・ストーリー3」を初放送し、その他、トイ・ストーリーの短編アニメーションなども放送した。

また、以前ディズニーXDで放送していた「ザ・ペンギンズ from マダガスカル」が3月からディズニー・チャンネルに移って放送中。

実写ドラマでは、以前ご紹介した「ブログ犬 スタン」を平日夜 22:00 台や日曜日の枠などで、さらに多く放送。

- 5月からは新シリーズ「ティーン・スパイK C」が放送開始予定で、23日(土)には特別編成を組み、主演のゼンデイヤが出演するTVシリーズ「シェキラ！」の特別エピソード「シェキラ！ in ジャパン」も合わせて放送する予定。
- ディズニーXDでは、4月11日・12日に「団地ともお」の特別編成を組む。新番組としては、「笑撃のナムチャックス！」が27日から、「カンフー・パンダ ザ・シリーズ」が13日から放送開始。
- 5月4日は英語で「May the 4th」なので、スター・ウォーズの名セリフである「May the force be with you」と掛けて、「スター・ウォーズ ザ・反乱まつり」という特別編成を組む予定。この日は、フィニアスとファーブとコラボしたスター・ウォーズの特別エピソードや、バナナマンがスター・ウォーズ世界の基礎知識を解説してくれるミニ番組などを合わせて放送する予定。また、視聴者の方々からは5月10日まで決めポーズの写真を募集しており、6月の放送でそれらを紹介予定。

- 各番組の情報はどこで得られるのだろうか？
- テレビ上でもEPGなどで番組説明が見られる。また、ガイド誌などにも載せている。チャンネルの公式ウェブサイトでも各番組の情報がアップされていて、ディズニーストア等でもチャンネルの番組表を置いている。

- ディズニー・チャンネルとディズニージュニアでは新たに、パソコン、スマホ、タブレットなどの端末機器で、どこでも視聴が可能な「WATCH ディズニー・チャンネル」「WATCH ディズニージュニア」というサービスを開始した。
それぞれのチャンネルで、リニア放送(テレビ視聴と同じ状態)と、見たい番組を選んで視聴できるオンデマンド放送がある。
- 「WATCH ディズニー・チャンネル」では、一部の番組がテレビ視聴よりも先行して配信される、などのサービスもある。
- 「WATCH ディズニージュニア」は、ディズニージュニアの番組のみを100%放送しており、ウェブサイトとはちがって、これ以外のページには移動できないので、安心して子供たちに見せられる、と好評を得ている。

- 現在、「WATCH」のサービスは、アメリカ、シンガポール、フィリピンなどでも導入されている。

2) ディズニー・チャンネル及びディズニーXD放送番組について

ディズニー・チャンネル及びディズニーXD放送番組について各委員より意見交換が行われた。

(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の回答)

『ガール・ミーツ・ワールド』について：

- ディズニー・チャンネルで放送された『ボーイ・ミーツ・ワールド』という作品のその後の展開を描いたコメディ作品。前作の主人公であるコーリーとトパンガの二人が大人になり、ライリーとオーギーという二人の子供を持つことになった、という設定。
ストーリーの内容は、今度は娘のライリーと彼女の親友マヤと二人で、世の中の色々なことに触れて成長していく姿が描かれている。
- 自分のことは自分で決めて責任を持って行動する、ということや、家庭環境などがテーマとして取り入れられている。
- この作品を見て、もう一回『ボーイ・ミーツ・ワールド』を見たいというコメントも頂いている。
- パパが登場した際に拍手がすごかった理由がわかった。このシリーズの元となる作品があったということだったのか。
- 『ボーイ・ミーツ・ワールド』は全7シーズン作られたシリーズで、アメリカでは92年から放送されており認知度も高い。日本でもこのシリーズは2年間ほど放送されている。
- マヤがいう「だって帰っても親がいないんだもん！」というセリフはとても重要な部分だと思う。家庭の状況が良くわかる。家族の形は日本でも多様化しており、こういった部分は共感できる。
- こういう内容は、何回やっても良い。今でも十分に通じる内容で、むしろもっとやるべき。中学生たちにも見せたい。
- ストーリーの内容自体は楽しめる。日本とアメリカだと、コミュニケーションの取り方が異なる点に注意が必要。日本人同士だとなかなか本音を言わず、ぶつかり合いを避ける傾向にある。そこは日本の現実とつながらない部分なので、この番組の内容と日本の子供たちがつながる何かが一言でもあると良いと思う。
- こういう設定の場合、日本では暗くなりがちだが、アメリカで制作される

と明るく前向きな形で伝えられるので良い。

『スター・ウォーズ 反乱者たち』について：

- 2014年～、ルーカスフィルムによる制作。物語は、ルーク・スカイウォーカーが主人公として登場する映画エピソードIVの5年前に反乱同盟軍が結成されるまでの過程が描かれている。
- 日本でもディズニーXDで1月24日に1時間枠で放送し、同じく1月にはディズニー・チャンネル、ディズニーXD、Dlifeで3局同時放送を行った。
- 視聴者の方々からの反響も大変多く、「面白い内容」「今後の展開が楽しみだ」といった感想等が見られる。
- 我々にとっては懐かしい。ルークが主人公の「最初」（エピソードIV）の映画を思い出す。チャンバラと西部劇が融合している。アニメーションになると、さらに動きが出て面白い。
- 確かにアニメーションだと、実写よりさらに自由にキャラクターを動かせるので幅が広がる。
- アメリカではこのシリーズで非常に大きく盛り上がっている。イベント会場では、ライトセーバーを手にしている人たち、手製のチョッパーなどが走り回っていた。スター・ウォーズのファンは個別にではなく、みんなで一緒に盛り上がる。
- 自分と同年代のスター・ウォーズのファンがいるが、これにかなりの時間を割いている様子。
- 何より3世代で楽しんでいるところが凄い。

『世界のディズニーリゾートへGO!』について：

- 以前から、海外のパークを見たいという強い要望があり、この番組を制作した。
- ご覧頂いたプリンセス特集の会を含め、4月までをカリフォルニアとフロリダのパークについて、5～9月は香港、10月からはパリを、といった形で進める予定。
- 番組MCはゴリさん。アシスタントは、福島カレンさん（LA出身、カリフォルニアとフロリダの回に出演）、香港編ではジャスミンさん（香港出身、5～9月の香港編に出演）。
- 番組MCの受けはどうか？

- 子供たちにも認知がよく浸透しており、幅広い層に受けが良い。
- 色々な国のパークを扱っており、バラエティに富んでいて良さそうだ。それぞれの特徴は出ているのか？
- それぞれの良さを紹介し、比較はしない方向。各パークにはストーリーがあるため、それをテーマにしたり、ウォルト自身の話の中でも、未来につながる話、例えばフロリダにあるエプコット（ウォルトが作りたかった未来都市）のことや、「It's a small world」は、もともとNY万博にあったものを持ってきた等のエピソードを盛り込む。他にも、ウォルトはアニメーターたちをめったに褒めないが、マレフィセントを描いたアニメーターに、シンデレラが変身するシーンだけは褒めた、等あるので是非楽しんで頂きたい。

以上をもって本会議は、議案の審議を終了したので15：30に閉会した。

上記の議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、本議事録を作成する。